

No. 34	<b>演題名</b> タスクシフティングへの取り組み ～業務を見直しみんなで定時に帰ろう～
	<b>発表者</b> 大庭 のりこ (国民健康保険飛騨市民病院) <b>共同研究者</b> 看護師 溝口香津恵 谷村こずえ 田口純子 徳田知香 丸山喜美 放射線技師 田口リエ 検査技師 和仁達也 理学療法士 新井智絵 薬剤師 日比孝之 事務課 林下明史 田中和美 河内京子 介護士 瀬木淳子 医師 工藤 浩 若栗 良



## 背景

- 慢性的な人員不足により、急性期病棟における看護師の負担が増加している
- 労基署による働き方改革指導の中、時間外労働を減らすための業務の効率化に着眼した
- 多職種が集まる5S委員会が「業務の5S」として行ったタスクシフティングの取り組みについて報告する

当院では、2014年より5S委員会を立ち上げ、院内5S活動に取り組んでいます。

背景  
 慢性的な人員不足により、急性期病棟における看護師の負担が増加しています。労基署による働き方改革指導の中、時間外労働を減らすための業務の効率化に着眼しました。今回、多職種が集まる5S委員会が「業務の5S」として行ったタスクシフティングの取り組みについて報告します。



活動の一例です。  
 机上ゼロをスローガンに整理整頓を行い、

## 方法

- 急性期病棟における看護師の雑業務を他職種へ移譲するタスクシフティングを試みた
- 毎月委員会で意見交換を行いながら、問題点について検討した



引き出しの中は、すがた置きを実施しています。

方法  
 急性期病棟における看護師の雑業務を他職種へ移譲するタスクシフティングを試みました。毎月委員会でタスクシフティングについての意見交換を行いながら、問題点について検討しました。

## タスクシフティングの 取り組み

- ①放射線技師による患者の移送
- ②理学療法士による患者の体重測定
- ③検査技師による検体回収

タスクシフティングの取り組みは以下の3点です。

## タスクシフティングの 取り組み

- ①放射線技師による患者の移送
- ②理学療法士による患者の体重測定
- ③検査技師による検体回収

一つ目です。

### 病棟看護師からの要望①

- 画像検査の患者移送を協力して欲しい

放射線技師に依頼

病棟看護師から、画像検査の患者移送に協力して欲しいとの要望を受け、5S委員会より放射線技師に協力を依頼したところ、

### 放射線技師からの反対意見!!

- 忙しい時間帯は絶対無理!!
- 自部署も忙しいのに、他部署まで手伝えない!!
- 患者の状態を把握しないまま移送することは不安!!

忙しい時間帯は絶対無理!

自部署も忙しいのに、他部署まで手伝えない!

患者の状態を把握しないまま移送することは不安!

といった反対意見もあり、スムーズには進みませ

ませんでした。

## 5S委員会からの提案

- 病棟看護師が状態の安定した患者を選択
- 混雑する曜日、時間帯は避ける
- 1日2~3人の移送とする

そこで、5S委員会では検討を重ね話し合った結果病棟看護師が状態の安定した患者を選択する。混雑する曜日は避ける。1日に2~3人の移送で良いと提案したところ、

放射線技師  
による患者  
移送が実現!!



放射線技師による患者移送が実現しました。

## タスクシフティングの 取り組み

- ①放射線技師による患者の移送
- ②理学療法士による患者の体重測定
- ③検査技師による検体回収

2つ目です。

### 病棟看護師からの要望②

- 高齢患者さんの体重測定を協力して欲しい

理学療法士に依頼

ADLの低い高齢患者の体重測定には介助が必要です。そこで体重測定に協力して欲しいとの要望に5S委員会から協力を依頼したところ

## 理学療法士からの**反対意見!!**

- リハビリを施行している患者全員の体重測定は負担!!
- 重症患者の体重測定は無理!!

リハビリを施行している患者全員の体重測定は負担！重症患者の体重測定は無理！と、反対意見が出ました。

## 5S委員会からの**提案**

- 地域包括ケア病床の患者のみとし、対象患者の一覧表を掲示
- リハビリ室への移送時に測定を行う

委員会からは、地域包括ケア病床の患者のみとし、対象患者の一覧表を掲示する。リハビリ室への移送時に測定を行う、と提案したところ、

## 理学療法士による**体重測定が実現!!**



理学療法士による体重測定が実現しました。

## タスクシフティングの**取り組み**

- ①放射線技師による患者の移送
- ②理学療法士による患者の体重測定
- ③検査技師による検体回収

3つ目です。

## 病棟看護師からの**要望③**

- 検体の回収を協力して欲しい

## 検査技師に**依頼**

当院にはメッセージャーがおらず、検体運搬を病棟看護師が行っていました。そこで、検体の回収に協力して欲しいとの要望を5S委員会より検査技師に協力を依頼したところ

## 検査技師からの**反対意見!!**

- 人員不足の中、オーダー毎の検体回収はできない!!
- 自部署も忙しいのに、他部署まで手伝えない!!

人員不足の中、オーダー毎の検体回収はできない！自部署も忙しいのに、他部署まで手伝えない！と、ここでも反対意見が出ました。

## 5S委員会からの**提案**

- 回収時間を比較的業務に支障がない時間（15時）に設定
- 検体保管場所を決め、検体回収箱に検体を保管

委員会では、技師の負担を最小限にするため検討した結果、回収時間を比較的業務に支障がない時間（15時）に設定する。検体回収場所を決め、検体回収箱に検体を保管するとしたことで、

## 検査技師による**検体回収が実現!!**



病棟検体置き場



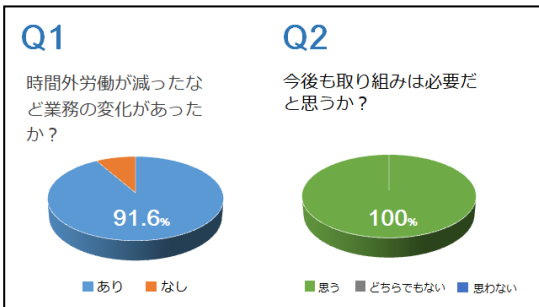
検体回収BOX

検査技師による検体回収も実現しました。

# アンケート結果

## ～病棟スタッフ～

タスクシフティング導入後、病棟スタッフに対しアンケート調査を行いました。



Q1 時間外労働が減ったなど業務の変化があったか?については、91.6%の方があったと回答し、Q2 今後も取り組みは必要だと思うか?については、全員が必要と答えています。

## 自由意見

- 時間内に業務を終えることで、気持ちにゆとりが出来た
- ベッドサイドに行く時間がとれるようになった
- 人員不足の中、全部署が互いに協力し合えば他にも何か出来るのではないかと

病棟看護師からは、時間内に業務を終えることで、気持ちにゆとりが出来た。ベッドサイドへ行く時間がとれるようになった。また、人員不足の中、全部署が互いに協力し合えば他にも何か出来るのではないかと、といった意見も聞かれました。

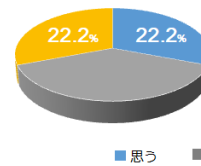
# アンケート結果

## ～コメディカルスタッフ～

コメディカルスタッフへのアンケート調査では

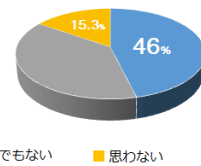
### Q1

タスクシフティングが負担だと思うか?



### Q2

今後もタスクシフティングを継続して良いと思うか?



Q1 タスクシフティングが負担だと思うか?については、2割の方が負担であると回答している一方で、Q2 今後もタスクシフティングは継続して良いと思うかについては、思わないという回答が、予想に反して15.3%にとどまりました。

## 自由意見

- 他部署の仕事を無責任に受けるのは危険だと思う
- お互いに助け合うならいいが、一方的では不公平だと感じる
- 協力できることは今後も継続したい

コメディカルスタッフからは、他部署の仕事を無責任に受けるのは危険だと思う。お互い助け合うならいいが、一方的だと不公平だと感じる、との意見もある中、協力できることは今後も継続したい、といった前向きな意見も聞かれました。

## 考察

- 全ての部署が人員不足の中、他部署への仕事の依頼は強い反対意見もあり容易には進まなかった
- 問題点を1部署対1部署ではなく、5S委員会の多職種メンバーで話し合い検討したことが今回の取り組みにつながった
- 感謝の言葉が、自らすすんでタスクシフティングを行うという意識の変化に大きく影響した

### 考察

全ての部署が人員不足の中、他部署へのタスクシフティングは容易には進みませんでした。問題点を1部署対1部署ではなく、5S委員会の多職種メンバーで話し合い検討したことが今回の取り組みにつながったと考えられます。また、感謝の言葉が自らすすんでタスクシフティングを行うという意識の変化に大きく影響しました。

## 結語

タスクシフティングの導入は、  
病院全体の協力し合う体制作り  
を促進し、仕事の効率化に寄与  
した

### 結語

タスクシフティングの導入は、病院全体の協力し  
合う体制作りを促進し、仕事の効率化に寄与しま  
した。今後も今回取り組んだタスクシフティング  
が継続していけるよう努力していきたいと思いま  
す。



ご静聴ありがとうございました

ご静聴ありがとうございました。